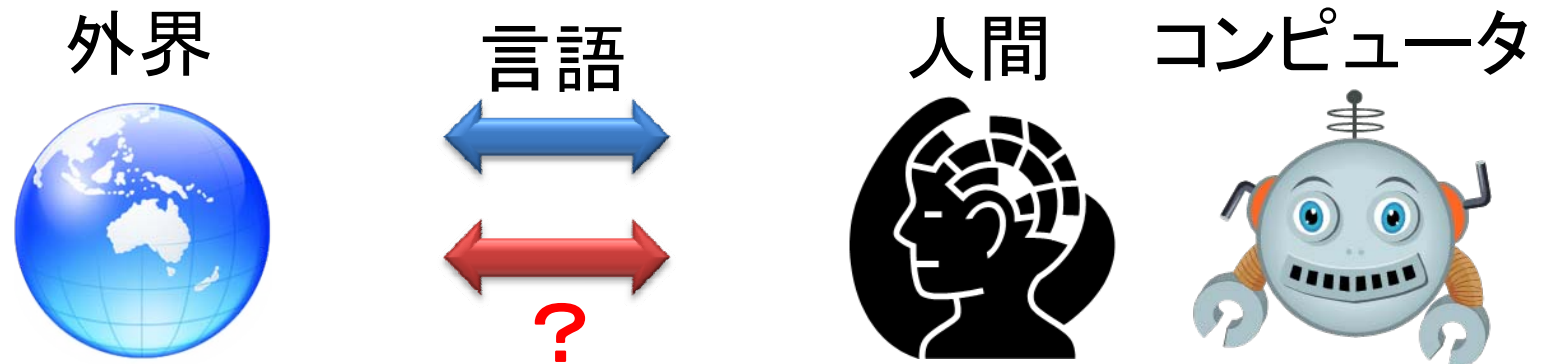


# 言語の習得や使用における 非言語情報の必要性について

宮尾祐介, 鍛治伸裕(東京大学)

- 自然言語処理の目標:「言語が使えるコンピュータ」を作ること
- ほとんどの自然言語処理研究では, 入出力が言語データのみ  
← 人間が「言語を使う」状況とは異なる
- 自然言語処理の研究をする上で, 言語以外の情報の役割を意識しておくべきでは？



# 発表内容

- 前提や立場の違いから来る「すれちがい」に終始することが多い
  - 「言語」とは何か？
  - 「言語が使える」とはどういうことか？
- 前提や問題設定をある程度明確にした上で、非言語情報の役割について議論する
- **様々な立場からの意見，議論を歓迎！**